

高知県教育委員会

・県立特別支援学校児童生徒数	： 6 1 8 人
・医療的ケアを必要とする児童生徒数	： 4 5 人
・医療的ケア看護職員数	： 3 5 人

背景・課題

- ・学校における医療的ケア実施までの書類準備期間が短いために、年度当初に保護者付添いを必要とする可能性があり、手続きの早期化等、保護者の負担軽減に向けた取組が必要である。
- ・医療的ケア児の通学のために送迎を行う保護者は「仕事ができない」「姿勢等への配慮が必要で運転に集中できない」などの実態がある。
- ・学校で働く医療的ケア看護職員の最新医療に関する知識・技能の習得が困難である。

取組の概要

① ガイドライン等の見直し	・医療的ケア実施手続きの改定に向けた検討 これまでの、学校で新入生の医療的ケアを実施するために、短期間での書類準備が必要であり保護者の負担となっていた。必要な手続きの一部を試行的に早期化し、以前は2月初旬に医療的ケア実施に向けて保護者への確認や説明を実施していたところ、12月から実施することとし、より早期かつ確実な医療的ケア実施体制の整備を図った。
② 通学支援事業	・週1回片道の運行（2校 計3名が利用） 前年度より実証事業として、隔週1回の通学支援を実施してきた。安心・安全な通学、保護者の負担軽減が実証できたことから、週1回に事業を拡大し、新たに1事例を追加し実施した。
③ 研修実施体制の構築	・看護職員等に向けたハイブリッド研修（集合・遠隔） ・教員等に向けたオンデマンド研修 これまでも看護職員等を対象とした研修を実施してきたが、更なる専門性の向上を目指し、対象者や参加方法を拡大した。また、看護職員等が最新医療に関する知識・技能を習得できるようにするため、e-ラーニングの導入を検討した。
④ その他	・地域との連携体制の構築 ・巡回看護師等による市町村教育委員会支援（巡回看護師派遣事業） 県立特別支援学校に巡回看護師を1名配置し、看護職員等の相談業務を実施してきた。看護職員等のサポートや学校の支援体制充実への効果が見えてきたことから、地域との連携体制の構築を目指し、市町村を支援する巡回看護師派遣事業を実施。小中学校における医療的ケアについて、巡回看護師を派遣し、市町村教育委員会等への助言を行った。



ガイドライン等の見直し

策定/見直しの趣旨

- 〈検討〉
 - 保護者への確認・説明などの就学前の医療的ケアに関する手続きの時期の早期化
- 〈期待する効果等〉
 - 保護者の負担軽減
 - 手続きの早期化による医療的ケア児受け入れの体制整備
- 〈課題〉
 - 医療的ケア実施までの手続きの早期化
- 〈継続課題〉
 - 災害時対応についての検討

見直しの内容

就学先決定から入学までの流れ 一部変更（試行中）

Before

（1月下旬）入学通知書が届く
（2月初旬）学校から保護者へ入学に向けての案内があり、医療的ケアに関する受け入れの流れの確認と手続きの説明

After

（12月）学校から保護者へ入学に向けての案内があり、医療的ケアに関する受け入れの流れの確認と手続きの説明
（1月下旬）入学通知書が届く



通学支援事業

本年度の取組及び内容

- 医ケア児の通学支援を実施（スクールバス運行の学校対象）
 - 週1回片道の運行
 - 予算4,050千円
- 〈成果〉
 - 新たな1事例を追加実施
 - 隔週1回→週1回への拡大
 - のべ約80回実施
 - 安心・安全な通学支援
 - 保護者の負担軽減
- 〈次年度〉
 - 継続実施予定

実施のスキーム



同乗する看護師

- 訪問看護ステーションに委託



車両・運転手

- 介護タクシーの借り上げ



研修実施体制の構築

本年度の取組及び内容

〈ねらい〉

- ・ 看護職員及び教職員の専門性向上

〈取組内容〉

- ・ ハイブリッド研修（看護職員等向け）
ヒヤリハット、緊急時対応等について
医療的ケアの手技について
- ・ オンデマンド研修（教員等向け）
「医療的ケアにおける教育的意義」
「医療的ケアと自立活動」

〈成果〉

- ・ 専門性向上
- ・ 他職種連携の重要性を確認
- ・ 看護職員の不安感軽減
- ・ 多様な研修方法の確立

〈課題〉

- ・ 最新医療の知識・技能の習得
- ・ 他職種連携の意識向上

〈次年度〉

- ・ 継続実施予定
内容については計画中
- ・ e-ラーニングの導入
（看護職員等向け）



その他（地域との連携体制の構築）

本年度の取組及び内容

〈ねらい〉

- ・ 県内の医療的ケア実施体制の充実

〈取組内容〉

- ・ 巡回看護師派遣事業による市町村支援
- ・ アドバイザー派遣等による助言

〈成果〉

- ・ 1市町村 計2回の実施
医療的ケア児受け入れに向けた
環境整備、他職種連携等につ
いての助言

〈課題〉

- ・ 本事業の活用促進

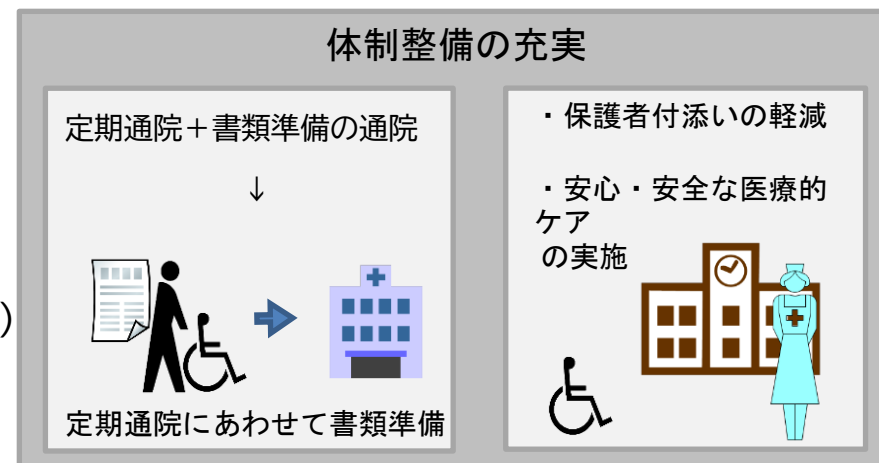
〈次年度〉

- ・ 継続実施
- ・ 周知方法や内容の検討

トピック

ガイドラインの見直し、通学支援、研修実施体制の構築による保護者負担軽減

- ・ 医療的ケア実施までの手続きの一部早期化（見込み）
体制整備の充実
（書類準備期間の延長、年度当初の付添い軽減）
- ・ 通学支援を利用した保護者の声
「安全な通学ができた」「仕事ができる」
「補助具等を作る時間ができて子どもの健康保持につながった」
- ・ 看護職員や教職員等からの声（巡回看護師派遣事業や研修への参加）
「情報共有や検討ができ不安感が軽減した」
「多職種連携の重要性を理解できた」
「教育的意義を再確認できた」



成果と今後の展望

今年度の成果



- ・ 就学に向けた書類等の準備期間を早期化
- ・ スクールバスを利用できない保護者の負担軽減
- ・ 他校・多職種との情報共有や意見交換による看護職員等の心理的な負担軽減や専門性の向上
- ・ 地域と連携した医療的ケア実施体制整備

今後の展望



- ・ 看護職員の専門性向上
- ・ 医療に関する最新知識の習得
- ・ 多職種連携等、県独自の研修の構築
- ・ 災害時対応の検討

・ 安心・安全な通学による保護者の負担軽減